

山口県教育委員会挨拶

山口県立下関北高等学校設置式に際し、一言御挨拶を申し上げます。

はじめに、下関北高等学校を設置するに当たり、来春の開校に向けた準備事務等のため、本日、豊北高等学校の校長、教頭、事務長及び教職員並びに響高等学校の教頭、教職員の方々に、兼務発令をしたことを御報告いたします。

さて、県教委では、社会の変化や生徒のニーズの多様化、少子化の進行等に対応し、中長期的な視点に立って、本県高校教育の質の確保・向上を図るため、平成27年3月に「第2期県立高校将来構想」を策定し、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備に取り組んでいるところです。

こうした中、下関北高等学校につきましては、学校や地域の関係者の御意見も伺いながら、響高等学校及び豊北高等学校両校の御尽力により、具体的な学校づくりについて検討を進め、本日ここに、設置式が挙行できますことは、誠に喜ばしい限りです。

下関市の北部に位置する唯一の普通科高校となる本校は、大学進学をめざした習熟度別授業や、ハングル・中国語の学習を中心とした国際教育の取組など、生徒の幅広い進路希望に応える両校の特色ある教育活動を継承し、さらに発展させながら、「地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育むとともに、未来社会に対応できる実践力を培う学校」として開校することとしており、生徒や保護者の皆様方、さらには地域の方々の関心も高く、大きな期待が寄せられているところです。

開校まであと5か月となりましたが、両校の歴史と伝統を継承するとともに、本日の設置式を機に、県教委といたしましても、教職員の皆様と一丸となって、生徒が夢を育み、志をもって学ぶことができる学校づくりにまい進していく決意であります。

終わりになりましたが、開校に向けて、両校教職員の皆様のより一層の御尽力をお願いし、御挨拶とさせていただきます。

平成29年11月1日

山口県教育委員会教育長 浅原 司

(800字／約2分45秒)